


教材・支援機器活用実践事例

【場面に応じた言動や感情のコントロールを身につけるための指導教材】

	実施年度	平成27年度	
授業について	教科名等	自立活動	
	単元・題材名	こんなときどうするの？	
	授業における教師のねらい	児童が自分の行動を見つめて調整したり、感情をコントロールしたりできるようにする。	
	授業における子どもの目標	場面の状況をイメージし、登場人物の気持ちを考えながら、望ましい行為について理由を添えて表現することができる。	
子どもについて	学校・学級・学年	小学校 通級指導教室 低学年	
	対象の障がい	自閉症スペクトラム	
	授業形態	個別指導	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	読書や工作など興味関心のある活動に夢中になると、そこから抜け出せないことがある。また、ゲームに負けたり思い通りにならなかったりすると、かんしゃくを起こしたり、友達の言動にカッとなって乱暴な行動をとってしまったったりするなど感情のコントロールが難しい。	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>① 本文</p> <p>「足ふんだ！いたい！」と言われたら</p> <p>体育の時間です。先生がふえをふき、あいずをしました。みんながいつせいにならんだとき、Aさんの後ろにならんでいるBさんが「いたい！ Aさん、今、ぼくの足ふんだでしょ？」と言いました。</p> <p>Aさんは、自分では、ふんだことに気づきませんでした。でも、Bさんは、いたそうに足をさわっています。</p> <p>② コミック会話風な絵</p> <p>③ 人形</p>	<p>【画像】 ②</p>  <p>③</p> 
	活用のねらい	場面の状況を理解したり、登場人物の振り舞い方を具体的に操作したりして考える。	
授業における支援 ・教材の配慮事項	<p>〈主な指導の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童が本文を音読する。 2. 教師がコミック会話風な絵を描きながら本文を音読する。 3. 児童が教師と一緒に人形の操作をしながら、場面の状況を理解する。 4. 児童がコミック会話風な絵に登場人物の「気持ち」や「言葉」を考えて書く。 5. 児童が人形の操作をしながら、登場人物の望ましい振り舞い方を考えて表現する。 6. 児童と教師が登場人物の望ましい振り舞い方をロールプレイで行う。 <p>※②③は状況を理解するだけでなく、思考したり表現したりする際にも効果的に活用する。</p>		
子どもの変容や評価	<p>多くの場合、本児が過去に経験したことに関係のある状況を題材にするが、児童にはそのことを特定しないで指導を進める。このことで、本児が第三者の目で冷静に登場人物の気持ちを想像したり、望ましい振り舞い方を考えたりすることができる。これらの指導の積み重ねにより、本児の日常生活で再び同様の問題が発生することを未然に防いだり、発生しても事後の対応や回復が早まったりしている。</p>		